



【2021 春闘】3月に2組合が妥結

J R九州ステーションホテル小倉労組が先陣を切って妥結

J R九州ステーションホテル小倉労組は、3月3日にベースアップ・定期昇給の実施、夏季手当1.0ヵ月分(6/11支払い)などの春闘要求を申し入れ、交渉を展開してきた。要求当日(3月3日)には労使対話行動を開催し、ベースアップを含む要求の趣旨を詳しく説明し、組合員の声を訴えてきた。その結果、3月15日に会社から回答を受け、3月26日に妥結した。

- ベースアップは実施しない
- 定期昇給について、正社員は基準内賃金の0.85%(平均1,969円)を引き上げる
- 正社員の夏季一時金については、基準内賃金の0.8ヵ月(平均)とする(7/2支払い)
契約社員、嘱託再雇用社員については、夏季一時金として一律30,000円を支給する

J R九州バス労組が妥結、多数の制度改善を勝ち取る

J R九州バス労組は、3月2日にベア1,000円をはじめとする春闘要求を申し入れて以降、精力的に交渉を展開してきた。3月23日には労使対話行動を開催し、労使の相互理解を深めながら協議を重ねてきた結果、3月29日に会社側から回答を受けた。J R九州バス労組は、ベースアップをはじめとする賃金面の改善が無いことから不満は残るものの、現下の厳しい経営状況を考慮すれば精一杯の回答であると判断し、席上妥結した。

- ベースアップは実施しない
- 第二基本給昇給額表による定期昇給の完全実施
- 扶養親族を有する組合員が、初任で居住地と異なる地域に配属された場合、転勤者と同様の取り扱いとする
- 積立保存休暇の使用事由の拡大
- 第二基本給昇給欠格事項から、育児・介護休職を削除する
- 単身赴任者の帰省手当に自動車等の燃料代を追加する

全ての加盟組合が労使対話行動を展開し、労使の相互理解を深める！

J R九州連合は、3月3日から3月25日にかけて、全ての加盟組合で労使対話行動を展開し、グループ会社の置かれた状況を正確に把握するとともに、「賃金水準が低位におかれている状況にあることから、会社経営が危機的状況にあっても、賃金改善を要求せざるを得ない。」などとした組合側の要求を主張し、「春闘を年に1回の重要な機会と捉え、組合の求心力と企業への帰属意識を高めるチャンスにしていくべきだ。」と訴えた。多くのグループ会社は組合側の主張に理解を示したものの、厳しい経営状況を背景に慎重な姿勢を示していた。

J R産業に集う全ての仲間の雇用と生活を守ろう